



あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。(ペトロの手紙14章10節)

As each one has received a gift, minister it to one another, as good stewards of the manifold grace of God. (1Peter 4:10)



創立者の精神を覚える会

私の使命〜未来へのバトン〜

国際青年会議所アジア太平洋エリアマネージャー 古賀泰代さん(S46回)

九州学院では初代院長遠山参良先生の命日(10月9日)を前に毎年「創立者の精神を覚える会」を行い、建学太平洋エリアマネージャー

の精神をあらためて想起する場を持ちます。本年は10月7日(土)、国期生を講師に迎えて『私の使命〜未来へのバトン』の演題でご講演をたまりました。



古賀さんは九州学院での出会いや体験を紹介して、それらが後の仕事や活動につながると語られました。まとめの部分で古賀さんは「自分や可能性に制限や否定をしないでほしい。学校で勉強できることは世界レベルではまだまだ当たり前ではない。その恵まれた状況でいっぱい勉強してほしい。英語力は当然大事だが、仕事や自分を表現するうえで日本語の力も大切に

してほしい。枠にとらわれずさまざまな人や仕事に出会うことで、その後の人生に必ず役立つ。目標を持っては、その実現に必要なツールは必ず見つかる」と強調されました。ご自身の半生を紹介しつつ感じてきたこと、伝えたいことを熱弁された古賀さんに、生徒たちは「今の大人(社会や世界を支える責任を担う世代)から渡される「未来へのバトン」を受け取るべく、真剣なまなざしで傾聴していました。講演会終了後、高1と中1の生徒たちは百年記念体育館前に移動し、遠山参良先生記念碑(以前は万日山にあったもの)前で、クラスごとに創立者の精神をおぼえて拝礼を行いました。

今夏も全国的優勝の栄冠に輝いた九学選手が続出し、マリセ福岡で行われた第90回玉竜旗高校剣道大会では、決勝を含め大将の岩切選手に一度も回すことなく4連覇の偉業を達成しました。

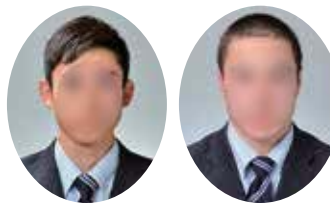
- 第90回玉竜旗高校剣道大会(4連覇)
- 全国高校総体剣道競技個人戦 岩切勇磨選手
- 第47回全国中学校剣道大会団体戦(2年ぶり6回目)
- 第47回全国中学校剣道大会個人戦 荒木京介選手
- 全国都道府県対抗少年男子ケイリン 松本秀之介選手

祝日本一!

- 高校剣道部
- 高校剣道部
- 中学剣道部
- 中学剣道部
- 自転車競技部



団体・個人W優勝の中学剣道部



松本選手

岩切選手

宗教改革500周年

あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

—ヨハネによる福音書8章32節—

九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝



2017年は、西欧で宗教改革が起こって丁度500年目に当たり、各地で宗教改革を記念する行事が行われています。500年前の1517年10月31日の朝、ヴィッテンベルグ大学で聖書を教えていたM.ルターは、それまで支配的だった世間の常識やしきたり、古くて悪い習慣ということではなく、聖書が示す真理に従って生きていこうという、この単純で、しかしすばらしい決意に身を固めて、「城教会」とよばれる大学のチャペルの門に95カ条からなる提題を掲げたのです。こうして、歴史の流れを変える宗教改革の運動が、一大展開を遂げることになりました。

M.ルターの教えによって引き起こされた宗教改革は、16世紀の西欧社会の構造を大きく変え、ルネッサンスと並んで近代の幕開けともなりました。その運動の根本は、満ちあふれる神の恵みを、もう一度生き生きと発見していこうというものでした。

九州学院は、そのM.ルターの教えを受けたルター派の教会によって設立されましたから、九州学院でも宗教改革を記念する行事が、10月29日に熊本市内の教会の合同礼拝としてブラウン・メモリアル・チャペルで行われました。

私たちは苦勞の多い現実を生きていますが、だからこそ、この現実の中で「神の恵み」を生き生きと見出ししていくこと、そのことを覚えておきたいと願っています。

今夏も全国的優勝の栄冠に輝いた九学選手が続出し、マリセ福岡で行われた第90回玉竜旗高校剣道大会では、決勝を含め大将の岩切選手に一度も回すことなく4連覇の偉業を達成しました。

また、カメイアリーナ仙台で行われた全国高校総体剣道競技個人戦で、岩切勇磨選手(3年)が見事優勝、また長尾和樹選手(3年)が3位となりました。岩切選手は4回戦で大会史上初の引分再試合の激闘をも勝ち抜いての優勝となりました。中学剣道部は高校剣道部が果たせなかった団体戦・個人戦ダブル制覇を達成しました。佐賀県総合体育館で行われた第47回全国中学校剣道大会団体戦決勝では、東京都の関中学校に4対0で完勝すると、個人戦も荒木京介選手(3年)が同校対決の決勝戦で平尾尚武選手(3年)に勝利して見事優勝しました。新チームへ移行した中高剣道部ですが、伝統の継承と新たな歴史創造に向けてさらに期待が高まっています。

春の全国選抜大会で学校対抗総合優勝を果たした自転車競技部も活躍しました。福井市営競輪場で行われた第52回全国都道府県対抗自転車競技大会では、松本秀之介選手(2年)が、100分の1秒を争う少年男子ケイリンで優勝しました。トラック競技で特に短距離の速度を競う種目に自信と実績を持つ松本選手は、来春の選抜大会や全国高校総体での優勝を十分に狙える実力者です。熊本地震の影響が未だに練習や試合環境にあるなかでの今回の優勝は、復興への元氣と勇気を与えてくれるものとなりました。

クリスマスを迎える

九州学院 院長 阿部 英樹



九州学院につながる私たちに特別な思いを分かち合うクリスマス季節がもうすぐやってきます。

私が九学在学中だったクリスマスには、礼拝後白川先生指揮のもと吹奏楽部による「メサイア」ハレルヤが演奏され、深い感動を覚えたものでした。この曲を聴く度に、九学での青春時代がよみがえってきて心が温まります。今年も同じ体育館で、全校生徒が共にクリスマス礼拝を守ります。

宗教改革者ルターは、クリスマスイブ礼拝の帰り道の森の中で、常緑樹の枝の合間から無数のまばゆく輝く星を見て、その美しさに心打たれました。そして、それを子どもたちのために再現しようと、家の中に木を持ち込み、火を灯したろうそくを枝にくくりつけたそうです。その後、ドイツではクリスマスツリーが一般的になり、時代を経て趣向を凝らしたオーナメントが飾り付けられるようになったということです。九学の校門前の大きなツリーに、明かりが灯されると、このエピソードが思い出されます。

さて、みどり幼稚園の園児たちによるイエス・キリストの生誕劇は、今では恒例となっており、毎年その愛らしさが高校生たちの心をとらえています。園児たちの純粋でひたむきな姿が、中高校生の心にキリストの生誕の出来事をまっすぐに届けてくれるからだと思います。

中学校では、新たな取り組み、クリスマス合唱発表会の準備を進めています。英語でクリスマスソングの讃美歌も歌う予定です。また、燭火礼拝は、12月22日(金)、3号館ホールにて一般公開されます。どなたも温かく歓迎されます。

この時期は入試シーズンの到来とも重なり、中学校の専願生・奨学生入試の願書受付が11月28日から始まります。中学校は、煉瓦造りの新校舎が新入生を迎えます。新高校1年生は、新しい制度の大学入試に臨む1期生となります。このために、すでに今春から特進コースの改革が進められており、1クラスであった特進コースは一気に3クラスになっています。

クリスマスはまもなく迎えます。救い主イエス・キリストの灯が、私たちの心を温かく照らすものとなり、思いやりの気持ちと希望を互いに分かち合うことができますように、また、私たち一人一人にとって特別な意味を持つ素敵なクリスマスとなりますようにお祈りします。

つながる広がる 九州学院の国際交流

【豪州姉妹校から訪日研修団が来校】

10月5日(木)、オーストラリアのアデレード市から姉妹校(九州学院・九州ルーテル学院と1990年に締結)関係にあるインマヌエル・カレッジの生徒20人、ルーテル学院高校への交換留学生1人、引率3人の計24人が九州学院に来校されました。

訪問団は国際交流委員教諭による説明を受けた後、全員または複数の班に分かれて九州学院中高の授業に特別ゲストとして参加しました。音楽や英語の授業に加え、書道や剣道といった日本文化や武道に触れる機会ももちました。生徒たちは初対面でしたが、すぐに打ち解けて和やかな雰囲気の中交流を深めていました。



【復活ルーテル教会の訪日団が来校】

7月12日(水)、アメリカ合衆国カリフォルニア州の「復活ルーテル教会」から、ユース(15~18歳)8人とリーダー3人が九州学院を訪ねられ、3日間ホームステイや授業参加などを通して生徒と国際交流のときをもちました。

交流初日となったこの日は中学生のホール朝礼で挨拶と自己紹介を行い、交流の記念として派遣元の教会旗を阿部英樹院長に手渡しました。その後は高校や中学校の教室等で英語や芸術、剣道などの授業に参加したり、九学会館(同窓会事務室など)で九州学院の歴史や熊本の伝統について学んだりしました。



「人にはできることがある」

ボランティア仲間九州ルーテル学院理事長 濱田龍郎さんを招いて講演会



9月16日(土)、高校は濱田龍郎さんを招いて講演会を行いました。濱田さんは被災地支援活動などを展開され、現在までにラーメンを10万杯無償提供されています。講演で濱田さんは、ボランティアに

は自主性、社会性、協調性、無償性が必要だと語られました。ボランティア活動は始める契機となった一人の少年との出会いを涙ながらに話された後に濱田さんは、「他者のために生きてこそ人である。日々の積み重ねと継続を大切にして夢を追いかけ続けてほしい」と生徒たちに熱いメッセージを送っていただきました。

「校内体育祭」大盛況!

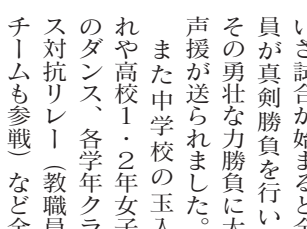
9月8日(金)、九州学院全天候型グラウンドで九州学院校内体育祭を開催しました。今回は4号館(中学校舎)改築工事の影響により



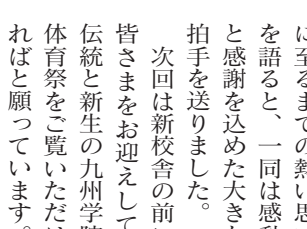
来場される方々の観覧場所を設けられず、やむなく非公開での開催とさせて頂いたため、種目数も例年よりも少なくなりましたが午前中のみ日程で実施しました。開会式では選手宣誓を吉永涼太高校生徒会長と岩田花佳中学校生徒会長が声高らかにを行いました。競技は第一種目の百メートル走から大歓声が沸き起こり、放送部



の実況が会場の雰囲気作りに貢献しました。特に高校生が学年男女別で行う種目(綱引き、高1男、騎馬戦、高2男、棒引き、高3女、棒倒し、高3男)では、パフォーマンスで場内を盛り上げながらも



いざ試合が始まると全員が真剣勝負を行い、その勇壮な力勝負に大声援を送られました。また中学校の玉入れや高校1・2年女子のダンス、各学年クラス対抗リレー(教職員チームも参戦)など全種目でグラウンドには歓声がこだまし、校内体育祭であることを忘れさせるほど生徒たちは充実した時間を過ごすことができました。閉会式では吉永会長が生徒会役員を代表して挨拶を行い、この日



に至るまでの熱い思いを語ると、一同は感動と感謝を込めた大きな拍手を送りました。今回は新校舎の前に皆さまをお迎えして、伝統と新生の九州学院体育祭をご覧いただければと願っています。

文化部門でも活躍

全国総文芸出場出品 将棋 古荘香弥さん 書道 松岡結さん



松岡さん 古荘さん

全日本合唱コンクール 熊本県予選「金賞」九州大会「銀賞」

7月15日(土)、熊本県立劇場で「平成29年度全日本合唱コンクール熊本県予選」が行われ熊本市予選が行われ合唱部(中高合同)が高校部門で見事金賞を受賞しました。また、9月8日(金)に沖繩コンベンションセンター劇場で行われた九州大会高校の部では銀賞を受賞しました。竣工した2号館音楽室での練習も始まり、さらなる高みをめざして頑張っています。

第30回熊本県高校英語スピーチコンテスト 黄さん九州大会へ!



黄さん

文芸部「九学春秋」が「最優秀賞」を受賞 村井香音さん「若木賞」

九州学院高校文芸部が部員の作品をまとめ定期的に発行している「九学春秋第15号」が「第34回熊本県高等学校文芸誌コンクール」で最優秀賞に輝きました。また村井香音さんが(卒業)の在校時の作品が若木賞を受賞しました。

第23回熊本県高等学校揮毫大会(9月2日) 「ワイングまつばせ」 松岡 結(3年) (秀作「平切の部」) 山口 幹人(3年)

第16回岐阜女子大学全国書道展(9月23日) 「岐阜女子大学」 団体優秀賞 (書道展賞) 福島 咲輝(1年)

第42回IEC国際大学校総合英語暗誦大会(7月15日) 「ワシントンモーターホール」(2位「高1の部」) 中島みなみ(1年)

世界が舞台!! 国際大会で活躍する九学生

※藤本一喜くんベア WORLD DANCE COLOSSEUM 準優勝! 9月3日(日)、東京都のZepp DiverCity TOKYOで行われた、WORLD DANCE COLOSSEUM 2017 FINAL Day 2の"4STYLE BEST4 トーナメント (2on2 BATTLE)"にHIPHOP部門で出場した藤本一喜くん(ベア LEO & IKKI)が準優勝しました。



これまでも数々の大会で実績を残している貫禄と実力を発揮した演技を行いました。熊本をはじめ各地で指導者としても大活躍中の藤本くんの今後ますますの活躍が期待されています。

※佐藤健くん 自転車競技ジュニア日本代表で3位に入る活躍! 7月に開催された自転車競技の国際大会「2017 UCI ジュニアネイションズカップ」カナダ大会(Tour de l'Abitibi)にジュニア日本代表として参戦した佐藤健選手がステージ4で3位に入り、銅メダルを獲得しました。



佐藤選手はインドやイタリア、韓国などを転戦し、ジュニア日本代表チームを牽引しました。今後は上の世代に活躍の場を移し、より高いレベルの大会に挑戦します。五輪日本代表をめざして頑張る佐藤選手にご声援をお願いします。

2017年度高校新生徒会役員

会長	有吉 健紀(2年)
副会長	船山 竜尚(2年)
書記	上村 陽向(2年)
書記	稲津 瑠都(1年)
会計	高松 実妃(2年)
会計	濱田康大朗(1年)

高校入試説明会

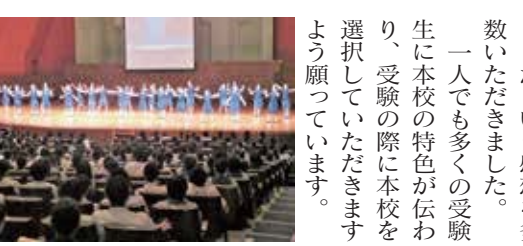
8月19日(土)、熊本県立劇場コンサートホールにおいて「2018年度九州学院高等学校入試説明会」を開催しました。昨年度は校内で実施していましたが、今回初めて校外施設を使用して行いました。司会進行の放送部をはじめ多くの生徒が登壇し、コースの特色や英語力、部活動紹介などを通して九学の魅力をそれぞれ工夫を凝らして発表しました。開場時刻前から県立劇場には多くの中学生や保護者が詰めかけ、最終的に1千5百人を超える方々にご来場いただき、ホールはほぼ満席となりました。終了前に実施したアンケートでは、在校生が本当に九学に来てよかったという思いや学校の魅力がよく伝わりましたという感想を多数いただきました。一人でも多くの受験生に本校の特色が伝わり、受験の際に本校を選択していただきませう願っています。

ミケーラさん九学での留学生活に感謝

6月22日(木)、インマヌエル・カレッジから留学生として九州学院での生活を過ごしてきたミケーラ・アンダーソンさんが、3号館ホールで全校生徒・教職員に向けて感謝と惜別の挨拶を行いました。



通訳を介さず一人で英語とたいへん流暢な日本語でスピーチを行ったミケーラさん。これまでの思い出を振り返りつつ、日本文化の体験や九州学院での日々が自分の成長につながったこと、友人やホストファミリーそして教職員への感謝の言葉を語りました。ミケーラさんはオーストラリアに帰国後、現在はアデレードの大学で学びを深めています。九州学院でもっとも過ごすことができましたことに感謝するとともに、ミケーラさんのこれからのますますの活躍をお祈りいたします。



九学同窓会だより

2年ぶりに東京九学会

総会・懇親会を開催

7月1日(土)午後6時から皇居近くの学士会館に於いて東京九学会総会・懇親会が開催



約170名が参加し大いに賑わいました。総会に続いての懇親会では、今年87歳の今村讀氏(S1回)が率いるハワイアンバンド「コロヘ今村&レイキングス」が生演奏を披露し会場を盛り上げました。昨年は熊本地震のために中止となったため2年ぶりの再会のため多く会場は明るいムードに満ち溢れていました。

東京九学会主催 新卒歓迎会に62名

10月21日(土)には東京・渋谷の居酒屋「マツハ」において東京九学会・東京KG会主催の新卒歓迎会が開かれ新卒の16名を迎え、62名の同窓生が集い大いに賑わいました。今回は、陸上の末續慎吾氏(S51回)、KEYTAL Kの寺中友将氏(S59回)、アバンチックノアの川畑貴氏(S62回)、たけし軍団の無法松と塩坂倫之氏(S45回)も参加しました。

生ハム技術の 世界大会に参加 城章洋氏(S40回)



これにより9月初旬にスペイン、トレドで行われたテージュ杯国際コルタドル競技会に日本代表補として派遣されました。おめでとうございます。

世界平和の祈りを 込めて席上揮毫 池田光希氏(S37回)

9月21日国連が定めた「世界平和の日」。

この日は世界中でさまざまなイベントが行われました。熊本の藤崎台にある熊本護国神社では、九学OBの書家・池田光希氏(S37回・野球部)が横浜から招聘され、大画面紙への席上揮毫のパフォーマンスを行いました。

各地の同窓会・その他

苅北支部懇親会	7月1日
荒尾・玉名支部ビール祭り	8月11日
八代九学会第21回総会	9月9日
阿蘇中部同窓会厄入り	9月30日
九学天草会総会	10月21日
東京九学会若手の会	10月21日
熊本市役所九学会総会	10月27日

シリーズ 羽ばたく同窓生

池田氏は全身全霊を込めて本職で「鎮魂」、境内でも「肥後安泰」という文字を大画面仙紙に書き、戦争や先の熊本地震で亡くなられた方々の御霊に捧げ、二度と戦争の無い平和な世界であるようにと祈願しました。司会も主な挨拶も九学野球部のOB会が中心に行い、宗教を超えての世界平和の祈りの日のイベントとなりました。

舞台「関数ドリ」 に出演 八幡みゆき氏(S60回)

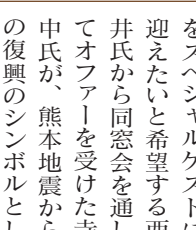


八幡みゆきさん(S60回)は、日本大学芸術学部演劇学科、新国立劇場演劇研究所などを経て現在、ピクチャーミュージックアーツ所属の女優として舞台を中心に活躍しています。

九学つながりの 注目の二人 西井辰朗氏(S51回) 寺中友将氏(S59回)

10月7日(土)、西井辰朗氏(S51回)がGM(ジェネラル・マネージャー)を務めるバスケット・熊本ヴォルターズ2017-2018シーズンホーム開幕戦が、県立総合体育館で行われました。

父の記念館のため 自転車走で全国一周 津田大毅氏(S59回)



父の津田恒美選手は広島カープの「炎のストッパー」。故津田恒美投手の遺児津田大毅氏(S59回)は父の記念館建設のPRのために日本一周自転車の旅を現在行っています。熊本を訪れた際には、母を訪問し、その後、フェリーで沖繩へ行き九州南部から四国を巡り11月頃に広島に到着

レゲット先生が50年ぶりに九学を再訪 ～「Youは何しに日本へ？」が取材～

米国のルーテル教会の人々の熱い祈りと献金によって1911年に建てられた九州学院には創立当時から現在に至るまで、教会本部から英会話教師(宣教師)が派遣され、常時2～3名が学院に勤務しています。その人達は日本(J)に3年(近年は2年)の任期で滞在することからJ3と呼ばれてきました。

その中の一人ウィリアム・レゲット先生(1968年～71年)が10月24日におよそ半世紀ぶりに九州学院を訪れる機会があり、当時の生徒や職員40人が大江教会に集い、歓迎のパーティーを開きました。

ところが、なんと成田で偶然にレゲット先生を取材した人気番組「Youは何しに日本へ？」のスタッフが、50年ぶりの熊本訪問のストーリーに興味を持って熊本までやって来たのです。懐かしい人々との再会や歓迎会の様子など収録し、多くの関係者のインタビュー取材をされました。どういつに仕上げられているのか乞うご期待!!放送日については九学ホームページなどでお知らせします。

中高7名に育英奨学金

7月3日(月)、1号館会議室において九州学院同窓会育英奨学委員会の今年度育英奨学学生に対する授与式が行われました。

この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として、1983年から九州学院同窓会が始めたもので、3年前から九州学院ナルドの壺基金に組み入れられました。現在は、

山下泰裕氏(S28回名誉卒業生)が 全柔連会長に就任



九州学院の名誉卒業生、山下泰裕氏がこの度全日本柔道連盟(全柔連)の会長に就任しました。

就任の記者会見では「皆の英知を結集し、子どもたちが胸を張れる魅力的な柔道界を目指したい」と抱負を語りました。

9月23日に熊本ホテルキャッスルにおいて祝賀会が行われ、山崎恒雄九州学院同窓会長を始め、多くの関係者が集まり全柔連会長就任を祝いました。

山下氏は1973(昭和48)年に柔道の名門、藤園中から九州学院に入学。高校1年生ながら全国高校総体男子重量級を制しましたが、2年時の同大会で準決勝敗退したのをきっかけにもっと強くなるために周りの薦めもあり、大学生と練習出来る東海大相模高に転校しました。その後、19歳で全日本優勝、1984年のロス五輪で金メダルを獲得するなど世界の山下として活躍し、国際柔道連盟(IJF)や日本オリンピック委員会(JOC)の理事も務めています。

2007年に九州学院で講演したのを機に本人の希望もあり第一号の名誉卒業生となりました。

山下氏の今後のさらなるご活躍をお祈り致します。

この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として、1983年から九州学院同窓会が始めたもので、3年前から九州学院ナルドの壺基金に組み入れられました。現在は、



熊本を訪れた際には、母を訪問し、その後、フェリーで沖繩へ行き九州南部から四国を巡り11月頃に広島に到着

2018大同窓会総会・懇親会

日時：2018年4月20日(金)17時30分～
場所：熊本ホテルキャッスル

次の担当学年は0と5の付く回となります。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

「九学同窓会だより」
文責・小手川 勲

2017年度大学入試進学状況

合格大学 (過去5年間)

【国公立大学】

現役合格22名(大阪(法)を含む)、昨年度卒合格2名(九州(医)を含む)

東京、大阪、九州(6)、筑波(3)、神戸、岡山、山形、三重(2)、京都工芸繊維、山口(3)、熊本(36)、鹿児島(11)、佐賀(3)、長崎(4)、大分(2)、宮崎(3)、琉球、鹿屋体育(4)、福岡教育(7)、九州工業、九州歯科、都留文科、北九州市立(6)、下関市立、鳴門教育、福岡県立、長崎県立(3)、熊本県立(39)、宮崎公立、名桜(3)、以上149名

【私立大学】

一般入試で現役53名合格(明治、上智、立教、法政などを含む)

早稲田(4)、慶応(3)、明治(28)、上智(2)、津田塾、国際基督教(5)、青山学院(12)、中央(10)、立教(8)、法政(19)、東京女子(8)、明治学院(19)、國学院(11)、駒沢(11)、専修(16)、日本(32)、東洋(24)、東海(21)、帝京(27)、日本体育(24)、関東学院(31)、神奈川(11)、同志社(66)、立命館(10)、京都産業(9)、関西(9)、関西学院(26)、近畿(25)、神戸女学院(6)、九州産業(35)、西南学院(52)、福岡(106)、福岡工業(12)、福岡女学院(13)、久留米(17)、九州ルーテル学院(40)、九州看護福祉(29)、熊本保健科学(49)、崇城(46)、熊本学園(239)、立命館アジア太平洋(17)、ほか、以上1528名

3大学と特別連携

同志社大学 (21名の枠)、福岡大学 (19名の枠)、熊本学園大学 (50名の枠) と高大接続による特別連携入試制度があり、この他にも明治、関西、法政など毎年約160の大学から指定校推薦入試の枠をいただいている。このほか、国際基督教、青山学院、立教、東京女子、明治学院、関西学院、同志社女子、神戸女学院、西南学院など多くのキリスト教主義の大学からも同加盟校推薦の枠をいただいております。今年には特に津田塾(英文)からも指定校の枠をいただきました。

卒業生からのメッセージ

勉強するときに大切にしたいこと

大阪大学法学部
法律学科
石原 繪人 君



◆九州学院中出身
●英語特進コース
私は高校生活の三年間を特進クラスで過ごしました。特進クラスでの生活はとても苦しく、日々の学習量に耐えられずに逃げ出したくなることもありましたが、頑張り続けた結果が実り、大阪大学法学科に合格することができました。今回は私が勉強するときに大切にしていたことを皆さんにお伝えします。

まずは暗記の方法です。私は、例えば英単語や数学の公式を覚えるときに、ただ覚えるのではなくどのような問題にどのような問題にどのようかを使うことができるのかを考え、実際に自分でそのような問題を作りながら暗記するように心がけていました。ただ単に暗記するよりも長期的に頭に残り、覚えたことを活用してスムーズに問題を解くことができるからです。

次に模試を受けるときの心構えです。特進クラスでは、センター試験に向けて多くの模試を受けて多くの方に受けることで、緊張感に慣れて模試を本番のように受けることで、

ました。その際、私はどれだけ本番と同じように模試を受けることができるかこだわりました。一般的には模試で最も大切なことは復習ですが、私は復習よりも本番と同じ緊張感を持つことを重視して模試を受けました。実際に、私は気になった問題と間違えた問題を解き直すことしかしていませんでした。復習を重視しすぎると、今回の模試で間違えなかった問題で間違えな

できなかった。受験では、どれだけ自信を持って本番に挑むことができるかがとても重要になります。その点では、自分でこだわりを考え出し、そのこだわりを持ち続けることは、大きな自信につながると思います。これから受験に臨まされる皆さんも、きっと多くの辛いことがあるだろうと思います。しかし、その辛いことを乗り越えることができたら、乗り越えられたという事実が自信になります。ですから、これからは決して挫折することなく頑張ってください。

世界で活躍

「ジュネーブ(スイス)」
「高校生平和大使として署名を提出」
「コルカタ(インド)」
「死を待つ人々の家でボランティア」
荒木 美柚 さん(高2)
桑崎 敬介 くん(高3)



9月19日(火)の朝礼時、第20代高校生平和大使として今夏ジュネーブにある国連欧州本部などで活動を展開した荒木美柚さんが特別メッセンジャーとして話をしました。署名を集めて届けるなどの公式活動とは別に、荒木さんには個人としての目標、すなわち広島や長崎で被爆された方々の体験や思いを同世代そして次世代に伝えることがあると冒頭部分で語りました。そのきっかけは昨年の熊本地震に関する新聞記事を読んだときで、120年前にも熊本で大地震が起きたことやその詳細がきちんと当時の私たちに伝わっていない「継承の失敗」を知ったことでした。荒木さんは、もしもこの継承がうまく行われていたならば被害状況もまた違ったのではないだろうかと考えました。

原爆などの核兵器による甚大な被害やその悲惨さについても同じことがいえるのではないかと。それを荒木さんは強く意識するようになりました。被爆者の平均年齢も80歳を超えるようになり、後遺症や病気で亡くなる方々も年々増えている状況の近年では、修学旅行や平和学習で現地を訪れても被爆者の方々から直接体験や思いを語っていただく機会が少なくなっているそうです。

高校生平和大使として被爆者の方々との懇談のときもつたとき、荒木さんは次の言葉を重く受けとめました。「あなたたちが私たち被爆者の話を聞くことができる最後の人たちです。平和のバトンを受け取って伝えてほしいのです。」この言葉を何度も噛みしめた荒木さんは「私たちに伝える責任、そして(核兵器による被害を)繰り返さない責任がある」と決意しました。最後に荒木さんはホールそして教室でともに礼拝をまもる中高生たちに次のメッセージを送りました。「私自身も含めて常に被爆者の方々や戦争や原爆を意識しているわけではないと思います。しかし時々いいですからそれらのことを考えてほしいと思います。決して忘れないことが繰り返さない、繰り返させないことにつながるのですから。」

桑崎敬介くんは今夏、インドのコルカタにある「カリガート(死を待つ人々の家)」でのボランティア活動に参加しました。故マザー・テレサによって始められた諸施設の一つで、終末期にある人々が運ばれてくる場所です。以下は桑崎くんの寄稿文からの抜粋です。

マザー・テレサは行き交う人々の誰からも見向きされずただ孤独のなかで死に行く路上に横たわる人々に、せめて最後まで「愛」を送りたい、受け取ってほしいと願いカリガートを創設しました。そこでの私の活動は次のようなものでした。朝、スタッフとボランティアが一堂に会してミサが行われた後、大量の洗濯物を丁寧に手洗い、食事や入浴の介助、排泄処理、着替えのサポートやシーツ交換など多岐にわたる活動に携わらせていただきました。



マザー・テレサの残した有名な言葉「愛の反対は無関心です。私たちはこの世で大きなことはできません。ただ、小さなことを大きな愛でもって行うのです」の重みを、私は自分の体験を通して理解することができました。と同時に、それまで当然のように思っていた私の考え方がいかに甘くて高慢なものであったかを思い知らされ、そのような自分を見つめ直すよいきっかけを今回の活動で与えていただきました。

2週間という限られた時間ではありましたが、毎日がとても充実して有意義なものでありました。また、私はカリガートで人が亡くなる瞬間に立ち会うことができ、そのときのことは今でも強く心に残っています。私が関わらせていただいた生活者の一人が死を迎えるとき、シスターと他の生活者が取り囲むように集まり、祈りと愛をもってその方を見送る場を共にさせていただきました。そのとき、私自身が経験したことも相まってさまざまな感情が交錯したことをよく覚えています。

死は確実にすべての人間に訪れます。だからこそ私は今生かされているこの瞬間を大切にしていきたいという思いが、今回の体験を通してさらに強まりました。人はその人に寄り添ってくれる、愛してくれる人がいて初めて安心できると私は学びました。

2018年度生徒募集情報

- 奨学生(A・B・C)【入試日:2018年1月23日(火)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語(リスニング含む)
【特典】
奨学生A…入学時納入金100,000円を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費の負担もない。特に優秀な若者数名には九州学院ナルドの壺基金より月額10,000円(寮生・下宿生は月額20,000円)を授与する。
奨学生B…入学時納入金のうち、入学金の一部と施設設備費の合計50,000円を免除する。
奨学生C…入学時納入金のうち、入学金の一部である20,000円を免除する。
【備考】奨学生A・B合格者は、希望すれば優先的に特進コースに入ることができる。
- 専願生【入試日:2018年1月23日(火)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語(リスニング含む)
【特典】奨学生の合格点以上を得点した者は、その得点に応じて、奨学生A・B・Cの合格者の資格を認め、それぞれの特典を与える。
- 専願生(特別活動推薦)【入試日:2018年1月23日(火)】
※次の指定14競技の体育活動推薦。男子のみ受験可。
野球・空手道・陸上・水泳・柔道・剣道・卓球・ラグビー・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・バドミントン・自転車・ボクシング
※中学時代の競技活動を証明する「スポーツ競技歴調査」を他の提出書類と併せて提出すること。
※野球部は1月実施の入試に合格した者のみ入部可。
【試験教科】国語・数学・英語(リスニング含む)・個人面接
【特典】奨学生の合格点以上を得点した者は、その得点に応じて、奨学生A・B・Cの合格者の資格を認め、それぞれの特典を与える。
【備考】合格者は普通コースの特技クラス所属となる。
- 一般生【入試日:2018年2月15日(木)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語(リスニング含む)

九州学院みどり幼稚園
種まきといのちの育み

認定こども園九州学院
みどり幼稚園園長 長岡立一郎
九州学院理事長

「涙と共に種を蒔く人は、喜びの歌と共に刈り入れる。」(詩編126篇5節)

教育の業はいつも種を蒔く作業に似ています。殊に人生の土台作りである幼児教育の時期は種蒔きそのものです。土を耕し、柔らかい土壌に、絶やさず種を蒔く作業は根気がいります。また保育者は一人ひとりの園児たちに目を向け、お預かりして



いる園児一人ひとりの可能性を十分に引き出せるよう努めて保育にあたっています。この秋には、防災・避難訓練やカーニバル(運動会)10月)をは

九州学院創立110周年 震災復興特別募金

皆さまの御協力をお願いいたします!

九州学院は2021年に創立110周年の節目を迎えます。前進と発展を続ける一方、昨年の熊本地震で学院は甚大な被害を受け、2号館(教室と特別教室棟)と4号館(中学校舎)は建て替えを余儀なくされ、他にも複数の建物で補修が必要となりました。

この度学院施設を復旧復興するにあたり「オール九学」による「Build back better」(より良い復興)を実践していくため、「九州学院創立110周年 震災復興特別募金」を創設し、皆さまに御協力をお願いすることになりました。

この特別募金の趣意書ならびに詳細につきまして改めてご案内させていただきます。皆さまの御理解と御協力をたまりませんようお願い申し上げます。

なお、この特別募金はすべて震災復興に充てさせていただきます。また、2017年9月までの既存募金額(「熊本地震義援金」33,794,909円)のご報告も併せて別紙に記載させていただきます。

- 目標額: 1億2千万円(※上記既存募金額を含みます)
- 期間: 2018年1月~2022年3月(予定)

九中コーナー

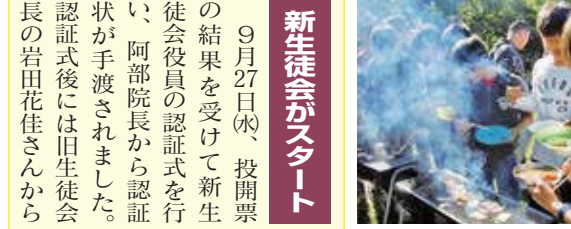


6月7日(水)~9日(金)の2泊3日で大分県九重町にある泉水キャンパスで全校教育キャンプを行いました。

全校教育キャンプ2年ぶりに九重町で実施



初日は雨天のために体育館でのクラスマッチと研修室での学級活動を実施しました。晴天となった2日目は朝から前日に予定していたカレーを作りま



の班が優勝しました。身体を動かした後の夕食(バーベキュー)の味は格別でした。

3日目は朝食後に感謝の気持ちを込めて美化活動を行い、キャンプ場を後にしました。今回のキャンプを通して、クラスメイトとの共同生活やかまどを使った調理など、普段の生活では得られない貴重な体験をすることができたのではないのでしょうか。日常生活に感謝する気持ちは、今後の学校生活に生きてくることでしょう。

- 弓道部 熊本市中学校総合体育大会(熊本市南部総合スポーツセンター弓道場)6月24日
- 男子団体 2位
- 女子個人(2年以下) 1位 田崎 大輝(2年)
- 男子個人(2年以上) 1位 上野 想空(2年)
- 女子個人(学校代表) 3位 石田 夢季(3年)
- 女子個人(2年以下) 2位 坂本 陸(3年)
- 女子個人(2年以上) 4位 宇佐美 美(2年)
- 5位 船津 暖日(2年)

- 剣道部 全国道場連盟県予選(ウイング松橋)6月3日
- 九学道場 1位
- 九学道場 3位
- ほたるの里剣道大会(旭志体育館)6月10日
- 団体 1位
- 相良村体育館(6月11日)
- 熊本市中学校総合体育大会(6月24日・25日)
- 熊本市西高 1位

- ハンドボール部 熊本市中学1年生大会(長嶺中体育館)8月26日
- 団体 1位
- 熊本市学年別個人選手権(尚綱中学校)9月9日
- 1年生の部 1位 高島 壮右馬(1年)
- 2年生の部 2位 末永 英大(2年)
- 3年生の部 3位 保田 武瑠(2年)
- 4年生の部 3位 田中 兆(2年)
- 1年生の部 1位 高島 壮右馬(1年)
- 2位 福岡 勇馬(1年)
- 3位 福岡 勇馬(1年)

- 水泳部 第44回熊本県中学生学年別水泳競技大会(8月19日~20日)
- 全名市民プール
- 男子20歳以下 1位 澤村 祐輔(2年)
- 女子20歳以下 1位 澤村 祐輔(2年)
- 男子自由形 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子自由形 1位 佐野 芹華(1年)
- 男子100m自由形 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子100m自由形 1位 佐野 芹華(1年)
- 男子400m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 女子400m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 男子1500m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 女子1500m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 男子5000m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 女子5000m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 男子10000m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 女子10000m自由形 1位 橋本 希美(1年)
- 男子2000m個人メドレー 1位 田代 麻有(2年)
- 女子2000m個人メドレー 1位 田代 麻有(2年)

- 柔道部 熊本市中学校総合体育大会(6月22日・23日)
- 混合中体育館
- 男子団体 2位
- 女子団体 1位
- 男子個人81kg級 1位 田中 愛斗(2年)
- 女子個人90kg級 1位 田中 愛斗(2年)
- 男子個人90kg級 2位 濱崎 駿(3年)
- 女子個人90kg級 2位 濱崎 龍真(2年)
- 男子個人90kg級 3位 牧野 泰真(1年)
- 女子個人48kg級 1位 田中 瑠愛(1年)
- 男子個人52kg級 2位 吉村 美祐(1年)
- 女子個人57kg級 2位 吉村 美祐(1年)
- 男子個人57kg級 3位 詫田 美沙希(3年)
- 女子個人57kg級 3位 詫田 美沙希(3年)

- チアダンス部 ダンスドリル2017九州大会(6月3日)
- 「福岡かすやドーム」
- 中学生ソングライター部門 1位
- ダンスドリル2017中学校全国大会(8月11日)
- 東京体育館
- 中学生ソングライター部門 4位

- 陸上競技部 第44回全日本中学校陸上競技選手権大会予選会(6月10日)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)

- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)
- 宮本 朋美(3年)

校内弁論大会を実施 優秀賞3人に表彰状

10月2日(月)、3号館ホールにおいて中学校校内弁論大会を開催しました。各クラス代表計9人が発表しました。発表者は経験豊富な身振りや声の大きさを活かして、身振り手振りを交えるなど、

- それぞれ工夫をして自分の思いを伝え、会場からあたたかい拍手が送られました。
- 「優秀賞」
- ◎植田 来未(3年)
- 「あたりまえという気持ちを持って」
- ◎吉田 凜子(2年)
- 「支え支えられの輪」
- ◎鶴丸ひなの(2年)
- 「言葉の力」
- 会長 岩永 真拓(2年)
- 副会長 鳥丸 陽一(2年)
- 書記・会計 遠山 楓呼(2年)
- 大塚 優水(2年)
- 永田まどか(1年)
- 福原 杏(1年)

